



旬の食材 健康知識



今月のテーマ
ゴーヤ

栄養満点！
美味しさUP！

“にがうり”とも呼ばれるゴーヤは、独特の苦みが特徴の夏野菜です。苦み成分のククルビタシンは、活性酸素を除去する働きがあり、動脈硬化の予防、免疫力アップ、血糖値を低くする効果が期待できます。また、夏バテ予防・疲労回復・老化予防・美肌効果に有効なビタミンCが非常に多く、あわせて豊富に含まれるβカロテンがビタミンCの効果をより高めてくれます。また、食物繊維も多いため、コレステロールの吸収を穏やかにしたり、便秘の予防や改善にも役立ちます。



選び方のツボ

- 表面のイボが細かく、濃い緑色をしていて、ツヤとハリがあるもの。
- 小ぶりでずつしりと重く、実が固く締まっているもの。

食べ方のポイント

- 苦みが気になる方は、薄く切って水にさらし、下ゆでしたり、油と一緒に調理するのがおすすめです。
- ワタやタネも食べられるため、輪切りにして天ぷらにするのも良いでしょう。



豆知識& こぼれ話



沖縄料理から人気が出たゴーヤですが、台湾でも人気の野菜です。台湾では白いゴーヤがおなじみで、生の白ゴーヤを使ったフレッシュジュースが評判のようです。また、ゴーヤを配合した石けんや歯みがき粉も発売されていて、台湾の方にとって美容・健康に欠かせない野菜のようです。



食べて元気！ 歯とお口の 健康応援 レシピ



たんぱく質で歯ぐきを健康に！

半熟煮卵

材料(2人分)

卵	6個
① 濃口しょうゆ・みりん・水…各50cc	
砂糖	大さじ1
かつお節	5g



作り方

- ①は混ぜて加熱し、アルコールを飛ばしたら粗熱をとる。
- 湯を沸かし、沸騰したら卵を入れて7分ゆで、冷水にさらして皮をむく。
- ビニール袋に①と②を入れて一晩おき、器に盛る。

栄養価(1人分)

エネルギー…110kcal

塩 分…1.4g

ワン one point ポイント

たんぱく質は、歯ぐきをはじめとする、体のあらゆる部位の材料となる栄養素です。食事で摂取したたんぱく質は一度分解されてアミノ酸となり、体の必要なところへ運ばれて再合成されます。この分解・合成にはビタミンやミネラルなども必要になりますので、食事は栄養バランスを意識しましょう。